

CONTENTS ◆春のつどいレポート ◆おくさわ今と昔 ◆奥沢の歴史を訪ねて
◆事務局雑観 ◆活動報告 ◆会からのお知らせ

春のつどいレポート

講演「桜のはなし」

桜の蕾がそろそろ膨らみ始める3月14日、奥沢東地区会館ホール入口に飾られた吉野桜と啓翁桜が満開で皆さまをお迎えしました。今回はマミフラワーデザインスクールの校長であられる川崎景介さんに春のつどいにぴったりの「桜のはなし」をしていただきました。(マミフラワーデザインスクールは「土とみどりを守る会」のフラワーアレンジメント講習会担当講師佐藤暁美が所属するスクールです。)

ご講演は

- ☑桜(サ・クラ)の意味・神との相関関係
- ☑農作業開始への鼓舞的存在
- ☑山桜系と里桜系のちがいと種類
- ☑桜を詠んだ歌の紹介
- ☑花見や室内における挿花など観桜の歴史
- ☑フラワーデザインにとって花材としての重要性

など多岐にわたりました。川崎先生はこの日のテーマにあわせて、きれいなピンクの花柄のネクタイをつけてきてくださいました。ジェスチャーを交えてのわかりやすいお話とそれに相まった映像で会場は終始なごやかな雰囲気でした。お話開始後もおいでになる方が続き、最終的に64名のご参加となりました。椅子もスリッパも不足気味の盛況でした。スリッパを履かない人たちをお気遣いいただいたのか、景介先生もスリッパなしでした。途中でクイズをだされ、正解の方にはスイーツのご褒美を！ほとんどの方が正解だったのは博識であられるのか！それとも年の功でしょうか？(笑)、少なからずざわついた楽しいサプライズでした。

ティータイムには理事さんたちが入れてくださったハーブティー(大変好評でした!)とお菓子をいただいてリラックス、その間の質問も活発で和歌の内容に関することや、品種改良、交配のことなど

かなり高度で、席を同じくされたマミフラワーデザインスクールの先生方、初めて参加された方も「土とみどりを守る会」の皆さんの実践に育まれた豊富な知識に感心したのではないのでしょうか。異なった活動をしているグループやいろいろな興味を持つ方々が一堂に会してお話をきき、他の方の質問もうかがえたのはよい刺激だったとのご感想をいただきました。その他種々の貴重なご意見もおききすることができ今後の会の活動にも大変参考になりました。ありがとうございます。

「桜のはなし」をお聞きした今年はその内容を反芻しながらの観桜で、より充実感をおぼえ一味違っていました。桜の情報にも目が行くようになりました。一昨日は強い風雨のため八重桜が勢いよく散って沢山のはなびらが回転しながら、ぬれた地面を一斉に移動して群舞のようでした。その様がとても美しくしばし見とれていました。芽だしよし、蕾よし、開花よし、散りもよし、葉もすがすがしく紅葉もよし、枯葉もいとおしく、樹形のよさに味わい深い樹皮、さくら茶に桜餅、挙げて限りなしです。落葉掃きは一仕事ですがやはり桜っていいですね。(佐藤)



お く さ わ 今 と 昔

(このシリーズでは毎回住民の方が登場し、この街にちなんだエピソードを語っていただいています。今回は作品展が契機で、遠藤、杉村理事とのお付け合いが始まった会津の元気な老婦人からの手紙を掲載します。)

「会津からのお便り」

南会津下里 佐藤 純江

新聞「土・まち・みどり」を有難うございました、すばらしい新聞だと思います。毎号、何回も読ませていただいておりますし、大切に保存もしています。

私は若い時、三宿に数年住んでおりましたので、故郷の便りを読むような懐かしささえ感じます。今は太子堂町になっておりますが、私が居たころは三宿町でした。太子堂では二のつく日には縁日があつて、夕方よく行ったものでした。買い物は三軒茶屋でした。

同じ世田谷でありながら奥沢のことは何も知らなかったのですがお便り(新聞)を読ませていただいているうちに、すばらしさを知り、またさすが立派な指導者も沢山いらっしゃって、羨ましくさえ思います。ここ田舎、特に私の町では、何か始めようとすると疲れてしまいます。

今は小学校で月一回程度、絵本の読みきかせをもう十年以上やっていますし、デイサービスで昔話をしたり、下手な手品をしたり、みようみまねで踊ったりボランティア活動をしています。デイサービスでは職員の方たちも待っていて下さるので、私の方が元気をもらっております。

一方福祉事務所のご指導で郡の連合老人会の機関誌の編集(年二回)も今年で十五年位になります。

この他に県の補助金をいただきながら好きなイベントを企画、実施しております。今年も冬を楽しむをテーマに、去る二月十一日に実施し、報告書を出してすぐ埼玉の妹の方に行っていました。来る三月三日は六十五才以上のひとりぐらしの高令者を招いて町主催の「おひなまつり」があります。私たちの「昔話の会」も出演を依頼されております。

「おひなまつり」が終わったら、また今度は横浜の二男の家に行つて羽を休め、もし可能なら今年度の、「いきいきのフェスティバル」に出店したいと思っております。作る人達が集まるので、アイデアで勝負ですね。出品するものも決めてあります。無理をしないで楽しみながら作っていきたく思っております。沢山の糸や布がありますので、足りないものを補い乍ら整理する意味で、安い、便利、すぐ使えるを目標に今年もやって行きます。元気なら、

町の人々のためにやりたいことがありますので、ちょっと年老いすぎの感があるのですが、更にやりたいことをやってみたく思っております。

こちらはまだまだ深い雪の中ですが、それでも陽光は日毎に強く、雪解けも進んでおります。

「桜木に寄せて」

奥沢2丁目 中村 裕

今年2015年、東京の桜の開花は例年より早く3/23、満開は3/30頃でした。4月に入ると早くも散り始め、残った桜花と緑の若葉が同居しています。桜の花が咲くと意外に沢山の桜木が近所にあることに驚かされます。

さて我家から一歩道路に出ると桜の木が三本見えます。一本は近くの大木で、この時期、見事に花を咲かせます。幹は太く逞しいのですが老木です。この桜、私の小学校時代には既に大木で夏には沢山の蝉が集まってきました。油の煮えたぎる如くうるさく鳴いて、強く存在感を示し、格好の虫取り場所でした。夏休みが終わった後の展示会で菓子箱に蝉だけゴロゴロ無造作に入れ「一大作品」として出品していた仲間が居たのを覚えています。

他の一本の大木は昨年と比べ大きく様変わりしてしまいました。道路に面した大木は電線との競合の末、太い幹は残したものの1/3程になってしまいました。花の量は減りましたが、それでも美しい花を今年も咲かせていました。住宅街の桜は節度ある枝張り・成長が求められると私は思っています。大きな決断の下、枝切りされたお宅には敬意を表します。

桜と言えば八幡小の校庭の真ん中にあつた桜の大木を思い出します。新校舎(現在の建物)が出来るとき切ってしまいました。見事な切り株が校長室かどこかに立てかけてあつたのを覚えています。

最後は我家からできるお花見についてです。東隣に染井吉野、南隣には山桜が咲き、この時期、良い気分になることが出来ます。しかし桜木のあるお宅からは近過ぎて余りお花見はできないのかもしれませんが、もっぱら私どもが秘かに楽しませていただいております。

桜の花が咲くと春がめぐってきたことを感じます。来年も元気で桜花に会いたいものです。来る春も春、行く春もまた春です。

奥沢の歴史を訪ねて XII

奥沢近辺の城址と地名⑥その他の城址 (v)

(私たちの住むまち奥沢の成立ちはどうだったのでしょうか、調査結果をシリーズで紹介します。)

今回は世田谷城北の守り、赤堤砦跡を紹介する。烏山川は世田谷城趾公園の南側を流れ、国土館大学で深い崖線を作っているが、その北側一帯はなだらかな台地を形成している。

その北側に小さな崖線をもった北沢川が流れている。ちょうど小田急線の豪徳寺駅北側を流れ、梅ヶ丘駅羽根木公園南で小田急線を渡り、やがて三宿・池尻の境界で烏山川と合流し、目黒川と名前をかえて、目黒・中目黒の桜並木に続いている。合流地点にあるのが前回紹介した多聞砦である。

豪徳寺駅北側で1本の沢が北沢川に合流している。特に名前はないが、世田谷線(旧玉電)に近いところを流れていた。

その沢と北沢川の中の台地が水田に取り囲まれ半島状に延びていて赤堤砦跡といわれている。小さな崖線なのでそれ程高低差はない。

現在はそのまま善性寺というお寺になっている。

正面に石段があり、小さな崖が続いている。すぐ西側を玉電が走っていて、線路を見ると坂になっているのがよくわかる。寺の側の踏切が付近で一番高くなっている。

善性寺は近くの勝国寺の末寺で、奈良東大寺の良弁僧正が関東に降った際、この地に草庵をむすんで彫刻をした不動明王と伝えられるものを本尊としているので、相当古い寺であると考えられ、赤堤砦と関係があったのかもしれない。

ただ、その先の松原駅近くに六所神社があり、そこが赤堤砦跡という説もあるが、地形的には善性寺の方がしっくりくる。

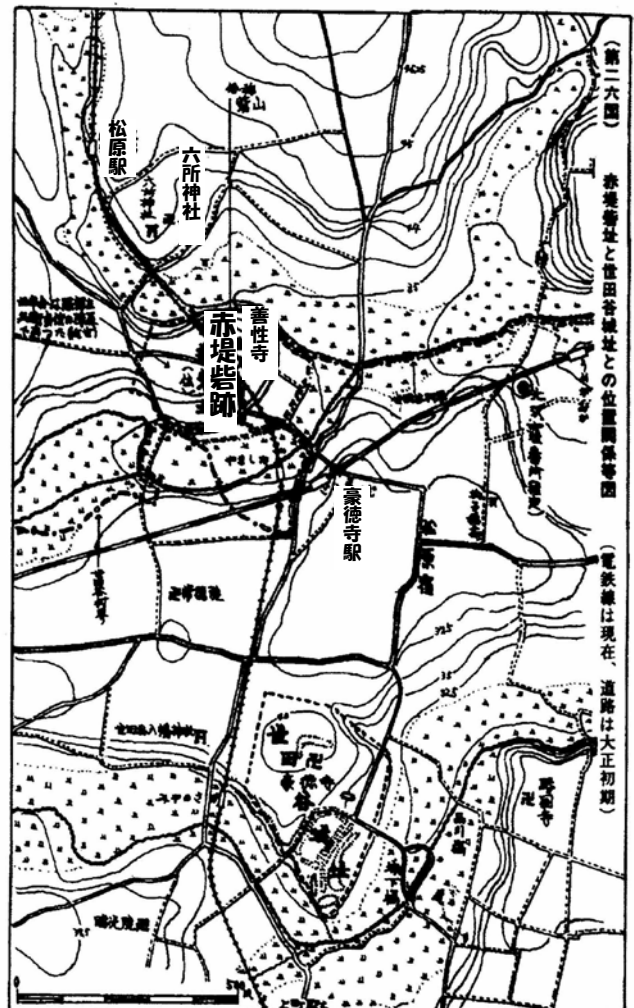
なお、世田谷城の南には小さな沢と蛇崩れ川の合流地点に弦巻神社があり、弦巻砦跡と伝えられている。ちょうど世田谷城を中心に北の赤堤砦、南の弦巻砦と対象の位置にある。(赤松)



(善性寺)



(六所神社)



出典「世田谷の中世城塞」昭和53年度世田谷区教委編集発行(三田義治氏編集担当)

事務局雑観（1年を振り返って）

昨年3月春のつどいで、参加者から今後の活動についてのご意見を語って頂きました。早1年が経っています。

従来からの活動は、4つのつどいに加えて、落葉掃きやフラワーアレンジメント講習会、ボタニカルアート（入門編）講習会と言ったミニ活動も積極的に展開し、活動が定着してきました。

しかし地域のみどりが急速に失われつつある地域の状況を眺めるにつき、「土とみどりは守れていない」のではないかと、という無力感にさいなまれてきたことも事実でした。

昨年の春のつどいでのご意見、また今回の春のつどい参加者アンケート（現在とりまとめ中）でも、奥沢界隈の住宅の変化で、急激にまちのみどりが失われつつある現状に深刻な危機感が現れており、土とみどりを守る活動を原点に帰って考えるべきとのご意見をお聞きするようになりました。

当会内部の議論でも、外部に対して何らかの働きかけが必要との意見から、「土とみどりを守るためのまちづくり」冊子制作の検討を行っています。今年度から、地域の皆さまに議論に加わって頂き、知恵を出しながら進めていこうと思いますので、ご協力宜しくお願い申し上げます。（鈴木）

活動報告

●春のつどいでは、マミフラワーデザインスクールの川崎景介校長が当会のために講演をして頂く幸運に恵まれました。これは、川崎景介さんと多摩美術大学教授である当会代表理事の堀内さんお二人のご理解と、フラワーアレンジメント講師である佐藤暁美さんのご尽力の賜物です。花や樹木のみどりを直接守ろうとするまちづくり活動に、花木の持つ文化的、歴史的な観点から、厚み深みを加えることができると、お話を通じて感じたものです。

●副代表理事の長瀬雅義さんと監事の坂内和典さんのお二人がご高齢を理由に退任されます。お二人とも会設立当初から現在の会の基礎を築いてこられました。長瀬さんは造園家として樹木に大変詳しく、景観木の選奨や樹木相談でご指導を頂きました。坂内さんは、監事役のみでなく、ご自身の幅広い活動、キリスト教会、合唱団、人&まちネット、サッカー等から当会の活動に外から風を吹き込み刺激を与えて下さいました。長い期間本当に有難うございました。

●春のチェリーセージプランターのメンテナンスを3月28日と29日に行いました。（鈴木）

会からのお知らせ

●ミニ園遊会を、5月30日（土）11時30分（雨天決行）よりシェア奥沢（奥沢2-32-11堀内宅）で開催します。皆様のお越しをお待ちしています。

●NPO法人土とみどりを守る会の総会を、ミニ園遊会に先立ち10時30分から開催します。会員の皆様には出欠の葉書をお送りしましたので、総会欠席の場合は委任状に捺印の上ご返送下さい。今回もシェア奥沢の室内開催のため、雨天でも実施します。

●土とみどりを守る会はいつでも新会員を募集しています。会の活動を支える年会費は1口1,000円です。活動に直接参加されなくても、会活動を継続的にご支援頂けると幸いです。どうぞ御協力をお願い致します。入会のご連絡は下記へどうぞ。

編集後記

雪深い南会津で地域活動に邁進されている佐藤純江さんからのお手紙が大変良いお話なので、ご本人の了解を頂き掲載しました。

今回は桜に因んだ記事が多く載りました。桜は開花期以外は、花びらや花柄の落下、毛虫、落ち葉で、持ち主の心を痛める困りものでもあり、近隣トラブルの一因でもあります。でもやはり日本人の感性に合う樹木ですね、皆様のご協力で守られてきています。（鈴木）

土とみどりを守る会 連絡先

世田谷区奥沢 2-32-11 堀内正弘 5701-5901
世田谷区奥沢 2-18-6 鈴木 仁 3723-6659
ホームページ : <http://tsuchimidori.net>
e-mail : info@tsuchimidori.net